



第 552 号 令和 6 年 7 月 1 日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
T E L (075) 256 - 0351
F A X (075) 241 - 3568
発行人 井 本 雅 美

「子どもたちに性のことを正しく伝えよう
～包括的性教育とリプロダクティブヘルス & ライツ～」
上野千穂先生のご講演を拝聴して

乾隆小学校医 八 田 佐知子

令和 6 年度京都市学校医会研修会は 6 月 8 日に、オンライン開催にて、京都市児童福祉センター診療所長の上野千穂先生に御講演頂きました。

上野先生は、児童精神・虐待・トラウマ・発達障害・セクシュアリティについての御研究と病院や児童相談所での診療を続けていられています。今回は 4 つのテーマでお話がありました。

①保育所や学校における性教育について

調査結果を示され、発達段階の早い時期から性教育に取り組み子ども達が知識を得ることが必要、と現場では切実に考えられていることがわかりました。

②性虐待の現状

児童相談所での対応件数や警察庁の事件検挙数が増えています。

2017 年法改正で監護者不同意性交等罪、監護者不同意わいせつ罪が新設され 2023 年に更に法改正されて、検挙可能となる事件が増えたそうです。

といっても、被害者である子ども自らが話さないと発見されないの、通告にいたるまでの教育現場における RIFCR（性虐待初期対応）と医療現場での BEAMS（医療従事者向け虐待対応プログラム）が紹介され、気づくことの大切さを話されました。

「だれが何をしたのか」だけを受けとめているら尋ねない、何度も話すうちに子どもの記憶は変遷するので注意が必要。

子どもを見たら虐待を疑う心の準備、子どもの安全に関して絶対に妥協しない、など気づく立場の

人々の姿勢が大切であること。

子どもは知識がないために性虐待を受けた自覚がなく、現状の変化を恐れ、支援者を拒否し、開示したとしてもそれを撤回したり、再被害・感情麻痺・解離・性の混乱・性的逸脱行為などが現れたり、セクシュアリティのゆらぎ・性加害行動・若年妊娠・自己治療・非加害親との関係・予後への影響と、様々な事象がみられること。

若年妊娠に関して中絶件数は減っていても中絶率（%）は減っていないという数字も示されました。

③セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス & ライツって何だろう？

自分のからだは自分のものであり（からだの自己決定権）、自分のことは自分で決める（本人の意思が尊重される）、そしてどのような選択をしても社会で尊重され、健康で、幸せに暮らす権利がある、全ての男女が子どもをもつ、もたないに関わらず健康の保持増進を行う、健康だったら受胎能力があるというわけではない、など小さい子どものときからからだを大切にすることを覚えておき、再生・生殖する権利がある、ということ。子どもが知っていくために、大人が性について学び過去を振り返り偏見やアンコンシャス・バイアスと向き合い、話ができるようになることは先ず私たちが取り組むべき点だと思われました。

④包括的性教育とは

性教育とはセックス教育ではない、性の健康と人権についての教育である、自分のからだを科学的に

知り、守り、大切にすること、幼児期から親子で性の話ができるように、を目指した教育です。

そのためには安心して話ができる環境をまず家庭で作ることが大事です。

子どもから性に関する質問があったときには「いい質問やね」「よく知ってるね」「それってすごく大切なこと」と受けとめる。

性のことを教えると性行動が増える？という疑問に対しては、知らない方が性加害性虐待性被害の危険にさらされる。

性の話しをすることを否定する・沈黙すると、子どもが性被害にあっても話してはいけないと思ってしまう。

答えたくない質問をされたときには「プライベートなことだから答えたくない」「ところでどうして聞きたくなかったの？」と話しを進める言葉がけをする。

などをお教え頂きました。

これに関する資料として、
国際セクシュアリティ教育ガイダンス（ユネスコ）
<https://sexology.life/world/itgse/>

まるっと！女性の健康教育プログラムまるっとまなブック5-8歳版

<https://marutto-woman.jp/program/>

文科省：いのちの安全教育

https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html

をご紹介いただきました。チャットによる質問に先生がお答えくださったり、先生からのご質問について視聴者から御返事があったりなど活発な話し合いがありました。

この研修会のあと、

Whitney HoustonのGreatest Love of Allという歌が突然私の心に響きました。

自分を愛し自己の尊厳を保ち、他者、特にこれから生きていく子どもたちを大切に見守っていく。子どもたちもその周りの大人達も生きやすい社会になるために私たちが今何かしら気づくことが大事だと思います。

貴重な講演をしていた だいた上野先生、そしてご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

令和6年度京都市立学校結核対策委員会準備委員会

京都市立学校結核対策委員会委員 大久保 秀 夫

京都市立学校結核対策委員会準備委員会（以下準備委員会）が5月23日に体育健康教育室小会議室で開かれ、定期結核健診の問診表回収結果により検討対象と判定された者に対して個別に検討を行いました。準備委員会の出席者は体育健康教育室から担当部長を含む4名と大久保でした。本稿では京都市立学校の結核健診、準備委員会での検討内容およびその後の流れについてあわせて報告いたします。

京都市立学校の定期結核健診では、まず定期健康診断時に「結核定期健康診断問診表」がすべての学童・生徒に配布されます。問診表の問1、2、3で本人の結核罹患歴、発病予防内服歴、家族等の結核罹患歴を問い、回答が「はい」の場合結核対策委員会での検討対象となります。問4では結核高まん延国での6か月以上の居住歴、問5では2週間以上続いている咳や痰などの自覚症状を尋ね、「はい」の

場合同じく結核対策委員会での検討対象となります。問6ではBCG接種歴を問い、未接種の場合は留意事項として記録保存されます。

今年の結核定期健康診断の問診表の回収結果では、問1の本人罹患および問2の予防内服歴の該当者はありませんでした。問3の家族等の結核罹患歴では9名（8世帯、いずれも本人は罹患・予防内服なし）が検討対象となりました。家族内の罹患者は父親もしくは母親であるものが4名、祖父もしくは祖母であるものが5名でした。この9名については準備委員会の後医療衛生企画課に管理状況を照会し7名は精密検査の対象外であることが確認できましたが2名は対象児童生徒の管理状況不明との回答があったため胸部レントゲン検査を実施することになりました。問4の結核高まん延国での6か月以上の居住歴があるものは135名でした。国別では中国44

名、ネパール17名、フィリピン10名、スリランカ9名、ベトナム8名など22の国と地域にわたっていました。この135名は全員がツベルクリン検査の対象となり、陽性者には胸部レントゲン検査を実施します。問5の自覚症状については問診表では73名が2週間以上続く咳や痰有りと回答していましたが、このうち71名はその後の追跡調査や医療機関受診勧奨の結果精密検査は不要となり2名が胸部レントゲン検査を受けることになりました。

ツベルクリン反応検査は、学校医会の多くの先生方のご協力を得て6月中旬から下旬にかけて4回に分けて京都市教育委員会体育健康教育室あるいは京都市総合教育センターにおいてそれぞれ皮内注射と判定が行われました。ツベルクリン反応陽性者(BCG接種済の者は強陽性もしくは発赤径30mm以

上) およびツベルクリン検査の対象となりながら受検しなかった者、家族罹患がありながら管理状況不明であった者、自覚症状が続き精査が必要と判断された者が胸部レントゲン検査の対象となります。胸部レントゲン検査は7月上旬から中旬に実施され7月末に読影会が開催される予定になっています。読影会での読影・協議の結果、結核罹患が疑われるケースについては精密検査依頼書が学校長に送付され、学校長から保護者に対し精密検査受診依頼が行われることとなります。

なお定期結核健診終了後の年度途中で海外から転入してきた児童生徒については転入時に速やかに「外国からの転入者用」の問診表を配布・回収し、結核対策委員会で必要と判断された者には秋に精密検査が行われる予定です。

新任校医挨拶



東道 公人
(葵小学校・高野中学校)

2024年4月より葵小学校、高野中学校の校医を拝命致しました。

私は昨年度まで京都第二赤十字病院に勤務し、今年度より左京区高野にある東道医院で診療にあたっています。

学校医として子どもたちの健康管理に努めたいと思います。初めてのことで慣れないこともあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



岩佐 真智子
(上京中学校)

このたび京都市立上京中学校の校医を拝命いたしました。

京都市上京区にて、2023年7月より内科医院を承継し、地域医療に携わっております。

上京中学校は医院から徒歩5分の距離で、幼い頃より馴染みのある場所です。そんな場所で学校医として働けることを大変嬉しく思っております。

まだまだ未熟者ですが、生徒達の健康管理に貢献できるよう日々精進して参りたいと思います。

皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



安田 達行
(京北小中学校)

本年4月1日より京北小中学校学校医に就任しました京都市立京北病院の安田です。

先日初めて学校健診を行いました。色々な子供たちがいて興味深い時間でした。

昨今健診の方法につき、自分が子供の時とは違って、それぞれのプライバシーを守る必要があり、診察に難しさを感じました。

これからも健診を続けるにあたり、間違いのないように努めていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

第 3 回 常任理事会

令和 6 年 7 月 6 日 於 事務局

出席者 井本会長、山内副会長、安野専務理事、大久保・西村・八田各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、平杉耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村・杉本監事

会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 6/4 1名、7/2 2名
2. 令和6年度京都市学校医会研修会 6/8
WEB 講演「子どもたちに性のことを正しく伝えよう～包括的性教育とリプロダクティブヘルス&ライツ～」
講師 京都市児童福祉センター診療所
診療所長 上野千穂先生
八田座長、杉本・有井先生 参加者62名
3. ツベルクリン反応検査
接種 6/10、判定 6/12
於：京都市総合教育センター 山内、八田
接種 6/12、判定 6/14
於：元有濟小学校 守上
接種 6/17、判定 6/19
於：京都市総合教育センター 山内、大久保
接種 6/19、判定 6/21
於：元有濟小学校 長村、杉本
4. 京都市学校保健会 理事会・評議委員会
6/11 於：京都市総合教育センター
井本・八田・長村・杉本、平杉先生
5. 精神衛生研究会 6/13
6. 三師会 6/15 於：翠雲苑
井本・山内・安野、松波先生、弓削先生
7. その他

<協議事項>

1. 京都市学校保健・学校安全功労者表彰の推薦依頼について
2. 市教委との懇談会 7/20 17:00～
於：ザ・サウザンド京都
3. 全理事会について 8/3 17:00～
於：うを多
4. 養研との懇談会について 9/7 17:00～
於：ザ ロイヤルパークホテル京都三条B1F
5. 新任校医研修会について 3/13 14:00～
6. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 なし
2. 精神衛生研究会 7/11 14:00～
3. 市教委との懇談会 7/20 17:00～
於：ザ・サウザンド京都
4. 第75回指定都市学校保健協議会・学校医研修会
7/27 16:00～ 於：札幌パークホテル
井本・山内・長村・杉本、有井・奥村・鈴木顧問、柏井先生
5. 第75回指定都市学校保健協議会 7/28
9:00～ 於：札幌ガーデンパレス
井本・山内・杉本、有井・奥村顧問
6. 第35回水泳記録会 7/29 8:40～
於：京都アクアリーナ 守上
7. 第46回近畿学校保健連絡協議会 7/25
13:30～ 於：和歌山県民文化会館 小ホール
8. 全理事会 8/3 17:00～ 於：うを多
9. 第4回常任理事会 9/7 15:00～
於：事務局
10. 養研との懇談会 9/7 17:00～
於：ザ ロイヤルパークホテル京都三条B1F
11. その他

お知らせ

京都市学校医会事務局は、8月10日(土)～18日(日)まで夏季休暇とさせていただきます。